

今後の医師養成の在り方と地域医療に関する検討会 開催要綱

1. 開催趣旨

現在、医学教育モデル・コア・カリキュラムが改訂され、卒前段階の臨床実習を一層充実することが予定されている。また、平成 16 年度の臨床研修必修化が地域医療に大きな影響を与えたと指摘される一方で、専門研修についても医師偏在の懸念が地域医療関係者より示され、研修開始が 1 年延期され、現在、平成 30 年度の研修開始に向けて、標準的な医療を行う専門医の研修方法が日本専門医機構において検討されている。

これらの新しい研修制度において、卒前・卒後の一貫した医師養成や、地域の医師確保など地域医療に十分配慮される仕組みとすることが重要である。

こうした観点から、今後の医師養成の在り方と地域医療について検討するため、本検討会を開催する。

2. 検討課題

- (1) 地域医療に求められる専門医制度の在り方
- (2) 卒前・卒後の一貫した医師養成の在り方
- (3) 医師養成の制度における地域医療への配慮

3. 構成員及び運営

- (1) 検討会の構成員は別紙のとおりとし、座長が必要と認めるときは関係者の参加を求めることができる。
- (2) 検討会は、原則公開とする。
- (3) 検討会の庶務は、厚生労働省医政局医事課において、地域医療計画課及び文部科学省高等教育局医学教育課の協力を得て行う。
- (4) その他、検討会の運営に必要な事項は、検討会で定める。